

目次

はじめに	2
目次	3
本論	
第1章 研究開発の概要	6
第2章 研究開発の経緯	10
第3章 研究開発の内容	13
第4章 実施の効果とその評価	27
第5章 研究開発実施上の課題および今後の研究の方向	30
各事業の詳細	
第1章 第1学年の研究開発内容	
1 学校設定科目『先端サイエンス総合A』について	
(1) ネットワークレクチャーⅠ (国立情報学研究所 末松安晴先生 新井紀子先生)	33
(2) ネットワークレクチャーⅡ (福井県立大学 神谷充伸先生)	35
(3) 科学講演会 (東京工業大学 清水優史先生)	37
(4) 数学発見	39
2 学校設定科目『先端サイエンス総合B』について	
(1) 地域の研究施設研修 (日本無重量総合研究所, 超深地層研究所)	43
(2) 野外セミナー (国立若狭湾少年自然の家 琵琶湖博物館)	45
(3) 生命科学セミナーⅠ「光る大腸菌」	49
(4) アースセミナー (名古屋大学)	51
(5) 生命科学セミナーⅡ「遺伝子工学入門」	53
(6) 実験基礎講座	55
3 学校設定科目『先端サイエンス総合C』について	
(1) サイエンスリサーチ基礎 (課題研究基礎)	57
(2) サイエンスリサーチⅠ (課題研究)	59
(3) プレゼンテーション指導 (日本科学未来館)	61
第2章 第2学年の研究開発内容	
1 学校設定科目『先端サイエンス総合A』について	
(1) 情報講座	63
(2) 天文セミナー (京都大学大学院 高木慎一郎先生)	65
(3) 放送大学利用講座	67
(4) 科学講演会 (名城大学 飯島澄雄先生)	69
(5) 数学セミナー (名古屋大学 納谷 信先生)	71
(6) 科学史講演会 (日本大学 西尾成子先生)	73
(7) 科学倫理	75
(8) 科学英語	77

2 学校設定科目『先端サイエンス総合B』について	
(1) エネルギーセミナー (核融合科学研究所)	79
(2) サイエンスキャンプ (筑波大学他)	81
(3) プラズマシンポジウム	85
3 学校設定科目『先端サイエンス総合C』について	
(1) サイエンスリサーチⅡ (課題研究)	87
(2) サイエンスリサーチⅢ (課題研究)	91
第3章 学年をこえた研究開発内容	
1 教科外活動 『SS-ENA』	
(1) 平成17年度SSH科学講演会 (中村桂子先生)	93
(2) サイエンスツアー (日本科学未来館)	95
(3) 中学生SSH体験講座	97
(4) SSH土曜講座	99
2 科学部の活動	
(1) 科学部の活動	103
(2) 科学部校外研修	107
(3) タデアイの染色能力研究	111
(4) 酸性雨がタンポポに及ぼす影響調査	115
(5) 博物館研修	119
(6) 岐阜薬科大学薬草園研修	121
(7) 自然観察会	125
3 各種コンクールへの参加と実績	127
第4章 実施効果の調査とその評価	
1 事業に対する評価	129
2 教育課程状況調査を利用した生徒意識調査	135
3 入学生のSSH事業の認知度についての調査	140
4 連携の成果	142
5 教職員・保護者の意識調査	145

<資料編>

1 生徒研究レポート (薬草の研究 3学年 前田一輝)	148
2 各種研修の実施および研修の成果の共有	154
3 運営指導委員会議事録	156
4 新聞などの報道内容	158